

# いながわ特派員報告



鎌屋 郁子



本田 さとみ

## 議会へ行ってみませんか



私達町民が選んだ20名の議員で運営されている議会。その硬い響きから何となく苦手意識を持つ人も多いのではないかと思います。しかし私達の生活に関わる大切な事柄が、常に議論され決定されています。

私達は6月の定例議会と、その期間中に開かれた日曜議会、そして常任委員会を傍聴しました。議会に関心を持ち自分達のこととして、一緒に考えてみませんか。



### 本会議と委員会

本会議は全議員と行政の執行者（町長以下幹部職員など）が集まり、町長や議会などから提出された議案について可決・否決の最終的な決定を行います。

本会議には、年4回開催される定例議会と必要に応じて開かれる臨時議会があります。本会議に提出された議案の内容によっては、専門的に深く話し合うため、常任委員会にその案件をゆだねた後、再び本会議で決定される場合もあります。常任委員会では現地視察も行います。また、本会議の運営などについて協議する議会運営委員会、その他必要に応じて設置される特別委員会もあります。本会議と委員会は全て傍聴できます。

### ● 猪名川町議会 議長 福田長治氏の話

議会での議員の活動をぜひ確かめてください。皆さんに傍聴していただくことで、一層熱の入った質疑応答が繰り広げられると思います。私達は4年に一度、住民の皆さんの信託を得ます。議員は皆さんの代弁者です。町づくりに皆さんの声が反映されているか、見極めていただきたいと思っています。



### 初めて傍聴して

私達は、6月11日の定例議会を初めて傍聴しました。この日の議会では、11件の議案が審議されました。

最初は審議内容がよく理解できなかったのですが、議会の雰囲気慣れてくると、だんだん内容も分かるようになってきました。木津駐在所移転についての審議は、以前私達が取材したところでもあり、身近な問題に感じました。移転先が妥当な場所なのか、土地の価格は適正かなど、議員から次々と質疑が出ます。これらは、私達にとっても知りたいことなので、議員が町民の代弁者であることを改めて実感しました。

2つの常任委員会も傍聴しました。委員会は議員の人数も7人程

### ● 議会運営委員会 委員長 南初男氏の話

猪名川町の予算は年間約150億円。私達議員は、それがどう使われていくのか、行政側の執行は適切であるのかをあらゆる角度から考え、質疑し議論します。議会に、ぜひ関心を持っていただき傍聴してください。



委員会でのクリーンセンターを視察する議員

### 私達にできること

私達は本会議や委員会を傍聴したり、会議録を閲覧することはできますが、自分の意思を伝えたい時はどうすればよいのでしょうか。その方法として「請願」「要望」「陳情」があります。しかし、それらを個人で提出する人は少ないでしょう。何か言いたいことがあっても、大多数の人は仕方ないと諦めていると思います。議会に関心を持つため

度と少なく、本会議場より小さい委員会室で行われます。質問回数も制限がなく自由な質疑が可能です。より深く内容を知ることができ、議会は退屈なものだと先入観を持っていましたが、全て私達の生活に密着した内容で、大変興味深いものでした。

### 集記 編集後

少し緊張した初めての傍聴。「いながわ議会だより」の紙面や、選挙用ポスターなどで見えたことなかった各議員の姿を間近に見て、発言を聞き、人柄も感じることができました。全般的に、もっと分かりやすい言葉で要点を明確に話してもらえると、議会がより身近になると思います。皆さんはどう感じるでしょうか。一度議会に足を運んでみてください。意外に面白いものですよ。

【特派員報告】

### 日曜議会

議会や町政への関心を高めようため、6月16日に日曜議会が開催されました。阪神間の議会としては初めての試みで、昨年からの実施されています。より多くの住民に議会を知ってもらおうと、平日働いている人も対象に、傍聴の機会を広げたものです。しかし70人という傍聴者があった第1回に比べ、今年は18人と大幅に減り今後に課題も残りました。

年齢に関係なく誰でも傍聴できるので、親子で町のことを話し合うのも良いかもしれません。

昨年、日曜議会を傍聴した知人から話を聞き、今回初めて議会の傍聴に来ました。今日の議会では分かりにくい点もありましたが、初めて知り得ることも多く、町政を知る大変良い機会だったと思います。日頃、私自身が気がかりに思っているのは、町内に大きな総合病院がないということです。安心して住める町づくりをして欲しいですね。



山本幸子さん (松尾台)

昨年の日曜議会を含めて今回で3回目の傍聴です。住民として自分の住んでいる町の行政を少しでも理解したいと思っています。

町北部に不法投棄される産業廃棄物を、防止する対策を取っているのか気になっています。ゴミの撤去には莫大な税金がかかるのですから、しっかり監視して欲しいと思います。



古賀久雄さん (白金)

に傍聴することから始めてみましょう。選挙の時だけでは分からない議員の姿を見ることは、次の選挙時の大きな判断材料になります。責任ある1票が自分の意思を伝える第一歩ではないでしょうか。

6月の定例議会の傍聴者は、日曜議会を含めても決して多くはありません。町政に対する意識が高まれば、それが私達の幸せにつながっていくのです。次回の定例議会は9月に行われます。一度傍聴して、自分が町政に対してできることを考えてみませんか。